

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.212-213 古都京都・奈良と歴史的景観の保全
2. 目標 (1) 京都や奈良には、歴史的な景観や多くの文化財が残り、観光資源として生かされていることを理解できる。
(2) 京都や奈良の人々が、歴史的な景観や文化財の保全に取り組んでいる理由を考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ 京都や奈良には、歴史的な景観や多くの文化財が残されていることを理解している。
思考・判断・表現	・ 京都や奈良で、歴史的景観を保全する取り組みが行われている理由を考察している。
主体的に学習に取り組む態度	・ 地域の歴史的景観や文化財などを保全する意義と課題を主体的に追究しようとしている。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)				
導入	1. 「空から見た京都市の中心部」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。	 p.212 ① 下京区室町通五条下る大黒町 Shimogyo-ku Muromachi-dori Gojo sagaru Daikoku-cho p.212 ② 資料のおよその場所を、地図帳で確認してみよう。  地図帳 p.104 ② 地図から分かる京都の町の特徴を挙げてみよう。	○ 「空から見た京都市の中心部」の写真を題材にし、平安時代の道路網が現代にも引き継がれていることに気付かせながら、本時への導入を図る。				
	2. 地図帳から読み取る京都の町の特徴を挙げ、学習課題への見通しを持つ。		○ 「京都市内の住所表示の例」のおよその場所を地図帳で確認させ、碁盤目状の道路など、京都の町の特徴を挙げさせる。				
	学習課題：京都と奈良では、歴史的景観を保全していくために、どのような取り組みが行われているのだろうか。						
展開	3. 「古都」京都・奈良で世界文化遺産に登録されている寺社を調べる。	 地図帳 p.104 ②  地図帳 p.104 ⑥ <table><thead><tr><th>京都</th><th>奈良</th></tr></thead><tbody><tr><td>(例) 清水寺、鹿苑寺、慈照寺、龍安寺、仁和寺、賀茂御祖神社 など</td><td>(例) 東大寺、興福寺、唐招提寺、薬師寺 など</td></tr></tbody></table> 京都市と奈良市にある、世界文化遺産に登録されている神社と寺院を見つけよう。	京都	奈良	(例) 清水寺、鹿苑寺、慈照寺、龍安寺、仁和寺、賀茂御祖神社 など	(例) 東大寺、興福寺、唐招提寺、薬師寺 など	○ 学習プリントを活用し、京都市と奈良市で世界文化遺産に登録されている神社・寺院を挙げさせる。
京都	奈良						
(例) 清水寺、鹿苑寺、慈照寺、龍安寺、仁和寺、賀茂御祖神社 など	(例) 東大寺、興福寺、唐招提寺、薬師寺 など						
		◆ 京都と奈良には、世界文化遺産に登録されている多くの寺社があることを理解させる。					

4. 京都や奈良を中心に、近畿地方には重要文化財が多く残されていることを理解する。

5. 京都市を訪れる観光客数の変化を読み取り、課題について考える。

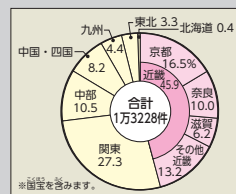
6. 景観に配慮した町づくりに取り組んでいる理由を考える。

(1) 景観に配慮した町づくり

(2) 景観に配慮した町づくりを行う理由

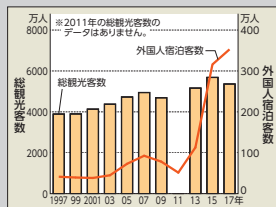
7. 本時のまとめをする。

8. 学習課題への振り返りの活動を行う。



p.212 3

地方別の重要文化財の数についていえることを挙げてみよう。



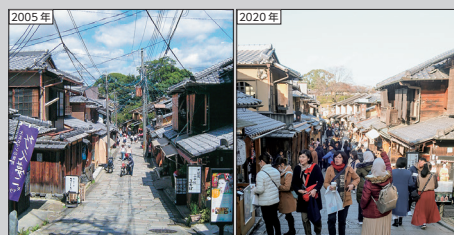
p.212 4



p.287 4

観光客数や外国人宿泊客数はどのように変化しているのだろうか。

観光客が増えることによる課題を挙げてみよう。



p.213 6

2枚の写真の違いを挙げてみよう。



p.213 8

なぜ、景観に配慮した町づくりをしているのだろうか。

○ 地方別の重要文化財の数を比較させる。

◆ 全国にある重要文化財のおよそ半数が近畿地方にあり、京都と奈良だけで約25%を占めていることに気付かせる。

◆ 伝統的工芸品の生産も盛んであることを理解させる。

○ 観光客の数と外国人宿泊客数の変化を読み取らせる。

◆ 外国人宿泊者数が大幅に増えてきたことに気付かせる。

○ 観光客が増えることによる課題を考えさせる。

◆ 宿泊施設の不足やバスの混雑など、観光客の増加に伴う課題に気付かせる。

○ 京都と奈良の景観に配慮した町づくりについて考えさせる。

◆ 道路上にある電柱や電線の地中化や周辺の町並みに配慮した看板の設置などの取り組みを行っていることに気付かせる。

○ 景観に配慮した町づくりを行っている理由を考えさせる。

◆ 後世に伝えるべき貴重な文化遺産であるとともに、観光資源になっていることに気付かせる。

京都と奈良では歴史的景観を保全するために、どのような取り組みを行っているのか、説明しよう。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ 京都と奈良の歴史的景観を保全するための取り組みについて、建築物の規制や電柱の地中化、伝統的な町家を生かした店舗などに着目して説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。